

学部 / 看護専門領域 / 看護援助の方法

科目コード : 120306

成人看護学概論 Introduction to Adult Nursing

担当教員	牧野智恵、村井嘉子				
実務経験					
開講年次	2年次前期	単位数	1	授業形態	講義
必修・選択	必修	時間数	15		
Keywords	成人期の特徴、看護論、保健行動、急性期・慢性期・リハビリ期・終末期看護				
学習目的・目標	【目的】 成人期の人々の発達課題や健康上のニーズ、及び彼らの健康問題について理解し、各健康レベルに応じた看護実践のあり方や医療システムについて理解する。 【目標】 1. 成人期の人々の身体的・心理的・社会的な特徴、健康問題の特徴について述べるができる。 2. 健康状態に応じた看護について理解することができる。 3. 成人看護学で用いられる代表的な看護理論を理解しできる。 4. 成人期の人々の発達課題や健康問題の特徴を踏まえた看護を提供することの意義とその方法を考察することができる。				
授業計画・内容					
回	内容				担当
1	成人の生活と健康 (第1・2章)				村井
2	成人への看護アプローチ (第3章)				村井
3	健康生活の急激な破綻から回復を促す看護 (第6章)				村井
4	治療過程にある患者への看護技術 (第11章)、ヘンダーソンの看護論				村井
5	健康をおびやかす要因と看護 (第5章)				牧野
6	慢性病との共存を支える看護 (第7章) 障害がある人の生活とリハビリテーション (第8章)				牧野
7	「療養の場を移行する人々の看護技術」 (第13章)				牧野
8	新たな治療法、先端医療と看護 (第14章)				牧野
教科書	ヴァージニア・ヘンダーソン著; 湯楨ます、小玉香津子訳、「看護の基本となるもの」日本看護協会出版会.2009年 小松浩子ほか著; 「成人看護学総論」医学書院.2018年				
参考図書等					
評価指標	筆記試験で100%評価				
関連科目	成人看護方法論Ⅰ・Ⅱ				
教員から学生へのメッセージ	受け身ではなく能動的に授業に参加してもらうために、事前に予習してきてもらいます。今後のためにも自学自習の習慣を付けてください。				